

緊張の初質問！ 常に市民目線で！！



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

空き家対策について

だて) 国の空き家対策特措法の全面施行に伴い、まず空き家の精密なデータベースを構築すべき。
答) 特措法により利用可能になった固定資産税情報も活かし、データの整理を進めていく。
だて) 空き家の利活用や解体等に関する市民からの相談窓口を民間の力も活用し、準備すべき。
答) 民間の協力等も含めて、今回新たに設置された検討委員会で検討していく。

生活保護について

だて) 生活保護受給者の就労支援強化に向け、市、ハローワーク、社協、NPO等の連携を強化し、大きな枠組みの支援体を形成できないか？
答) 現在、福祉の総合相談窓口の設置を課題として掲げている。その中で考えていきたい。
だて) 生活保護世帯で育った子どもたちを取り巻く、いわゆる「貧困の連鎖」を断っていくため、教育支援等の取り組みを更に進めるべき。
答) 生活保護制度の中でも重要な課題である。個別の支援をきちんと行っていきたい。
だて) 就労支援、教育支援は「未来への投資」という観点で積極的に進める事を要望します。

選挙公報について

だて) 期日前投票の増加が進む中、現状ポスティングのみで配布されている選挙公報を公共施設や駅に速やかに配置することはできないか？
答) 市長選、市議選に関しては増刷等も含め、有権者の配慮をする方向で検討を進めていく。
だて) また、現在選挙後に選管ホームページから直ちに削除されている選挙公報を次回の当該選挙まで各議員の公約等を確認する資料として掲載の継続をすべきと考えるか？
答) 掲載していくように努めていきたい。

ひばり児童遊園について

新町3丁目にある、ひばり児童遊園閉園に向けた市の動きについて、この公園を守ってきた地域の皆さん、利用者や子どもたちの存続を求める強い想いを市に伝え、検討の見直し、土地の買取りやその他の存続に関する方策を提案、要請致しました。

環境施策は市民と共に 前向きな取り組みを



国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか

◆環境施策・石けん秋本) 昨年7月に水循環基本法が施行され、水が貴重な財産と位置づけられた。水質保全の観点から、改めてグリーン購入ガイドライン項目への石けんの追加を求める。答) 検討委員会にて検討したい。秋本) 公共施設での合成洗剤持込み禁止等、指定管理者への石けん利用の徹底を。使用状況の実態の調査もお願いしたい。答) ガイドラインに沿って、今年度募集より協定書や仕様書に明記、高調達率を維持していきたい。ポスター掲示等、職員啓発は継続、実態も調査する。秋本) 学校での環境学習の中でも、水を守る観点から取り組んでいただきたい。◆廃食用油秋本) 生ごみ回収の学校拠点で廃食用油も回収できるよう利便の向上を。また環

境学習の一環として、環境まつりでのバイオディーゼル燃料など資源循環の見える化を。答) 今年度は公共施設での回収日を拡充する。学校拠点については検討したい。まつりでのPRについては実行委員会と調整したい。◆若者施策秋本) 窓口相談に来た若者とその家族への対応として、庁内連携はもとより、地域の関係機関の把握も重要と考える。窓口の設置と支援の内容を周知して、相談者対応マニュアルを準備する等、各々に寄り添った対応と情報提供を。答) 具体的な支援計画については検討中。窓口対応は丁寧に、また庁内連携して必要な部署につないでいく。◆図書館の現状と今後のあり方秋本) 本多公民館まつりの図書イベントが盛況だった。市民との協働、ボランティアの更なる活用など、地域コミュニティ創出の場としても、図書館の活性化を。答) ボランティア制度の立ち上げ、障がい者雇用等、多方面検討していきたい。秋本) 西国分寺駅周辺の貸出窓口の設置予定は。答) いずみホールの返却ポストに加え、貸出の可能性について庁内協議を進める。◆性的マイノリティー(LGBT)の支援秋本) 人権問題啓発の一環として市の取り組みは。学校現場ではデリケートな問題なので、大人が理解を深める体制づくりを。答) 養護教員等の研修を進め、教員全体への理解を図ることを喫緊の課題としている。

横のつながりで、 暮らしやすいまちをつくる



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

<1>高齢者施策～地域福祉のまちづくり

(問) 熱中症対策の一つに「涼み処こくぶんじ」の設置があるが今年新たに商店会がご協力くださる。高齢者の外出の安心につながると同時に、商店と地域包括支援センターがつながる意義は大きい。これを機に、商店会向けに内容を工夫した「認知症サポーター養成講座」の開催を提案(答) 高齢者の生活を支える商店会の方々に、認知症の理解をしていただくこと、相談窓口として地域包括支援センターを知っていただくことは重要。講座開催に向け内容の充実を図っていきたい(問) 介護保険制度の改正で、介護予防の定義が社会参加や活動にも広がったが、動くために必要な筋力や体力を落とさないために運動を継続することは重要。さまざまな活動に運動を組み合わせては？(答) 高齢者が参加する場や市民の活動に、運動の視点を入れていくことは必要。そのきっかけづくり、情報提供について検討していく(問) 高齢者施設の事業者に対して、ボランティアの受け入れを積極的に働きかけていただきたい。介護職員の負担軽減が結果的に利用者の満足度向上へ、また、地域の一員としての災害時のたすけあいにもつながると考える(答) 事業者のお考えもあることだが、地域福祉を進める中、働きかけていきたい。(問) 市内にも買い物不便な地域がある。買い物の手助けをするだけでなく、買い物を通してコミュニティが創出できるような取り組みを求める(答) 現状の把握から始めたい。

<2>農業振興施策について(問) 地場野菜を食べたくても販売場所が近くにないエリアがある。販路拡大の一つとして、地域包括支援センターの場所をお借りできないか？地域の方に地域包括支援センターを周知することにもなる(答) それぞれの場所で条件や課題をクリアにする必要がある。研究しながら進めていきたい。

<3>空き家・空き地の活用について

空き地の有効活用を提案し、空き家・空き地になることを未然に防ぎ、有効活用につなげるシンポジウムや学習会の開催を求めた。

命と人権を守る視点から 相談支援をすすめよ



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■子育て支援策■岩永) 虐待の新規相談受理件数がこの4年間で66件から120件と倍近くなる等、子育ての相談件数が増えている。相談したい時にすぐに予約できない、内容によってはかなり待たされると聞く。親子ひろばの中央地域での常時開設拠点と、地域とのネットワーク作りで相談支援体制の充実を。答) 進めていきたい。岩永) 産後は母親の食や健康管理が後回しになりがちで、心身の体調を崩しやすい。離乳食講習会では簡単に取り分け食を作るコツ等、親子共に楽しく食生活を送れるアドバイスを。答) 盛り込んでいきたい。岩永) 児童館の休日開館を。答) H29年度からの指定管理者更新時に検討する。■障がい者施策■岩永) 障がいの日常生活と社会参加のために欠かせない移動支援について、必要な人が使えない、必要な時に使えない現状を改善するために、全体的な見直しを。答) 国の動き等を注視しながら検討していきたい。■投票率向上の取り組み■岩永) 駅周辺の期日前投票環境の拡充や、ぶんバスや駅、商業施設と連携して投票啓発のアナウンスを。答) 次期選挙に向けて検討する。岩永) 若年層の投票率向上や子ども達への主権者教育の観点から、大学や高校との連携による啓発、小・中学校での選挙のしくみの体験、自分の意見を持ち議論する場を。■選挙事務局長■岩永) 市内や地域との連携で、質の高い投票行動につながる取り組みを進めていきたい。■教育長■一体になって取り組んでまいりたい。■人権・平和施策■岩永) 犯罪被害者等支援について、性暴力で届け出る被害者は氷山の一角。地域の関係機関との連携とあわせて、適切な初期対応ができる庁内体制を。答) 必要と認識している。取り組んでいきたい。岩永) DV支援について、男女平等推進行動計画第2次計画策定では、女性のみならず男性被害者からの相談ニーズの把握と、HPの充実で当事者に必要な情報提供を。答) 取り組んでいく。岩永) 戦後70年。非核平和都市宣言をしている市として、子ども達自らが平和を発信する取り組みを。答) 子どもから子どもへ伝えられないか模索していきたい。

閉会中の委員会等

委員会とはなたでも傍聴できます

第2回定例会終了後、平成27年第3回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

7月16日(木)	議会運営委員会
8月3日(月)	厚生委員会
8月4日(火)	文教子ども委員会
8月12日(水)	建設環境委員会
8月13日(木)	総務委員会
8月14日(金)	国分寺駅周辺整備特別委員会
8月28日(金)	代表者会議 議会運営委員会

委員会は市役所第1庁舎3階で午前9時30分から開始予定です。

※8月4日の文教子ども委員会は午後1時から開始予定です。